

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成27年3月19日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	「タル木どめSD」
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4115 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	垂木-軒桁接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1)接合金物</p> <p>「タル木どめSD」 1個×2</p> <p>材 質：降伏点560N/mm²以上 引張強さ570N/mm²以上の鋼材 試験ではNSDC570*1を用いた</p> <p>寸 法：25.6mm×28.6mm×112mm(外形) 板厚t=0.6mm 接合具用孔 4-φ3.6mm</p> <p>表面処理：スーパーダイマK18*1</p> <p>2)接合具</p> <p>横架材側：「太め釘 ZN-40」2本×2</p> <p>材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=38.1mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p>垂木側：「太め釘 ZN-40」2本×2</p> <p>材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=38.1mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZA(JIS H 8641)</p> <p>3)軸組材料</p> <p>横架材：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：9.0～12.5 % 全乾密度：0.36～0.38 g/cm³</p> <p>垂木材：38mm×89mm×600mm S-P-F 甲種2級 含水率：10.5～11.0 % 全乾密度：0.41～0.44 g/cm³</p> <p>*1 新日鐵住金(株)の品質規格</p>
6. 試験条件等	試験体は、垂木と横架材を直交させ、当該接合金物により接合した。また、偏心加力とならないように接合金物を対角に2個取り付けた仕様とした。 試験体は、垂木を上側にして、横架材を鋼製架台に置き、垂木芯から軒桁木口両側に200mmの位置で鋼帯(接触面寸法75mm×105mm, t=25mm)を用いて鋼製架台と強固に緊結した。 加力治具を用いて、垂木を上方向に載荷した。加力点は、垂木芯から垂木木口両側に150mmの位置とした。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 1.7kN (詳細については性能試験報告書に示す) 試験結果は、接合金物1個当たりの数値を示す。
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年2月9日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳